



# サルビア

令和元年7月18日 第16号

## 命を守る「背浮き」の学習 「浮いて待て」 ～4年生体育授業と教職員研修～

7月5日（金）の5校時に、4年生の体育授業で命を守る「背浮き」の学習をしました。また、放課後には教職員を対象にした「水難事故防止」と「背浮きの指導法」の研修会を開催しました。

講師には、日本水難学会副会長 田村祐司 様（東京海洋大学准教授）と同指導員3名をお迎えして本格的な指導を実施していただきました。

平成29年3月に告示された小学校学習指導要領には、体育（水泳運動系）の指導において、新たに「安全確保につながる運動（背浮き）」が明記されました。（「背浮き」については右写真参照）。この背景には、東日本大震災をはじめとする様々な自然災害が発生していることを踏まえ、いかなる状況下でも自らの命を守り抜くための、適切な意志決定や行動選択を行うことができる力を子供たち一人一人に育むことが課題となっていることにあります。

実際、東日本大震災の津波被害に遭った小学校では、教室が濁流で満たされてしまった際に、「背浮き」をして浮いて待っていた児童が救助された例が報告されています。一度自転車に乗れるようになったら、その乗り方を一生忘れないように、今回学んだ「背浮き」は、生涯にわたって子供の命を守ることでしょう。

わずか1時間の指導でしたが、「背浮き」を身に付けた子供は「できる自分」を実感した様子で、自信に満ちた晴れやかな表情をしていました。



今回の学習で「背浮き」をマスターした児童



災害や水難事故に遭ったら「浮いて待て」



正しい入水の仕方



冠水して水位が高いときは横歩き



身の回りのもので浮くものはどれ？



ペットボトルを胸に浮いてみよう



浮いたら、両手を開いてみよう

# 上毛新聞に、指導の様子が掲載されました



【上毛新聞】令和元年7月17日（水）掲載

## 学校給食「伊勢崎づくしの日」 ～伊勢崎市ブランドごぼう「京香」をつかったかき揚げ丼～

伊勢崎市の学校給食では、地場産食材を活用した献立「伊勢崎づくしの日」を、学期に1回実施しています。

1学期の「伊勢崎づくしの日」の献立は、伊勢崎市ブランドごぼう「京香」をつかったかき揚げ丼で、本校では7月17日（水）の給食で提供されました（右写真参照）。子供たちは、ごはん（市内産のお米「あさひのゆめ」）の上にかき揚げをのせて、天井のたれをかけて食べました。噛むごとに、ごぼうの香りと甘さが口いっぱいになりました。

学校給食を通して、地元伊勢崎市の素晴らしさを誇らしく感じることができる、そんな素敵な献立でした。

ごちそうさまでした。



ごはん、牛乳、京香ごぼうのかきあげ、香味漬け、豚汁、天井のたれ